

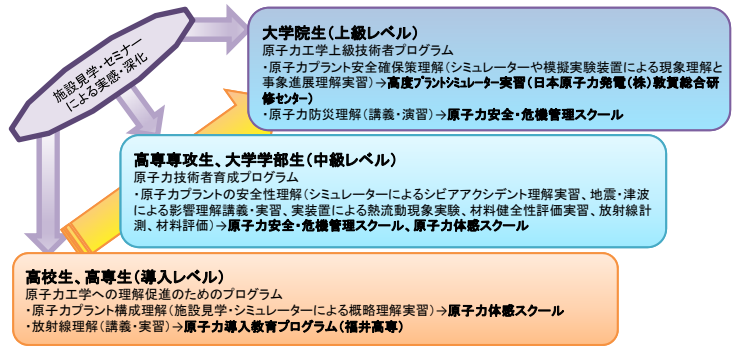
# 福井大学における原子力人材育成

## — 原子力立地地域の資源を生かして —

福井大学では、平成16年4月に大学院工学研究科に「原子力・エネルギー安全工学専攻」を新設し、その後平成21年4月に「附属国際原子力工学研究所」を設置して国内外の原子力研究・教育体制を構築してきた。東日本大震災以降は原子力防災・危機管理や廃止措置にも力を入れ、地元との協力体制も構築しながら、継続的に原子力人材を育成する取り組みを推進している

### 福島第一原子力発電所の燃料デブリ分析・廃炉技術に関わる研究・人材育成

### 原子力人材の総合的育成にむけた原子力発電所立地機関の連携教育体制構築



- (2) 燃料デブリ分析コース**
- ① デブリ物性・分析研究(各大学)
  - ② 模擬燃料演習(遠隔講義)
  - ③ 燃料デブリ実習(JAEA大洗)
  - ④ 臨界管理実習(京大JKUCA)
- (3) 廃炉技術開発コース**
- ① 廃炉技術開発研究(各大学・機関)
  - ② 非破壊検査実習(福井大)
  - ③ 放射線管理・計測実習(福井工大)
  - ④ 放射性核種分析実習(福井大)

◆ 1F廃炉現場のニーズを踏まえた**中長期的視点での基盤研究**を実施

◆ 1F廃炉における課題解決に貢献できる高い知識と社会貢献意識を持った **広い専門分野の若手人材を継続的に育成**

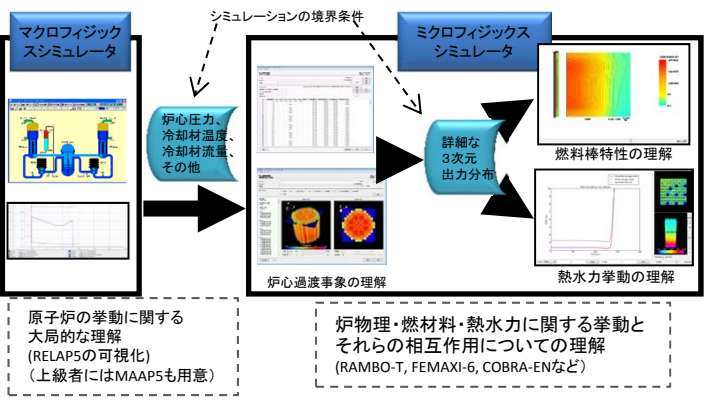
**福井大独自の取り組み(人材育成機能)**

- ・原子力防災危機管理体制の構築(双方向ネットワーク、避難シミュレーター、放射能拡散影響評価シミュレーター、地震・津波影響評価シミュレーターなどの整備を実施中)
- ・COC事業など地域連携体制の構築(施設相互共同利用体制、立地地域コミュニティへのアウトリーチ活動、)
- ・廃止措置にかかる人材育成カリキュラム

**・高校・高専・大学・大学院が連なる継続的原子力人材育成プログラム及び実施体制の構築**

**・原子力発電所立地地域の知見・資産を生かした包括的人材育成プログラムの充実**

統合



一人1台のノートパソコンを使って、各自のスピードと興味に基づいたシミュレーション解析と原子炉挙動の経時変化を追っていきける環境。

平成28年4月、工学部 機械・システム工学科に「原子力安全工学コース」を設置しより幅広い原子力人材の育成に努めます。

(学生数20~30人/学年、学部一修士6年一貫教育による高度人材育成も実施)